



ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前 9:00～午後 6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 18B

1 609 92A 18B (15.04)

バッテリースコープ GIC 120 C 型



取扱説明書

このたびは、弊社バッテリースコープをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になります前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

| | |
|-------------------------|----|
| ●安全上のご注意 | |
| 警告表示の区分 | 2 |
| バッテリー工具全般についての注意事項 | 2 |
| バッテリースコープについての注意事項 | 9 |
| ●リサイクルのために | |
| 使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください | 12 |
| ●本製品について | |
| 用途 | 13 |
| 各部の名称 | 13 |
| 仕様 | 16 |
| 標準付属品 | 17 |
| ●使い方 | |
| バッテリーを準備する | 18 |
| 作業前の準備をする | 22 |
| 作業する | 24 |
| アクセサリを使う | 31 |
| ●困ったときは | |
| 故障かな?と思ったら | 32 |
| 修理を依頼するときは | 33 |
| ●お手入れと保管 | |
| クリーニング | 34 |
| 保管 | 34 |

ご安全
注意の

のリ
サイ
クル
にル

つ本
製
い品
てに

使
い
方

困
っ
た
と
き
は

保
お
手
入
れ
と
管

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

バッテリー工具全般についての注意事項

ここでは、バッテリー工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたバッテリースコープには、当てはまらない項目も含まれています。

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

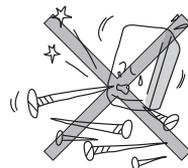


3. バッテリーにくぎを刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱やくぎ袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

1. 正しく充電してください。

- ◆ この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が0℃未満、または温度が45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ バッテリー工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはめれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



4. 保護めがねを使用してください。

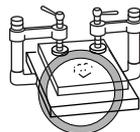
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でバッテリー工具を使用できます。



7. 次の場合は、バッテリー工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

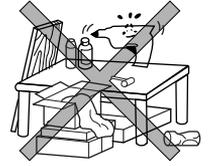
12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして棄てないでください。

棄てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠ 注意

ご安全
注意の

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業員以外、バッテリー工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ バッテリー工具やバッテリーを、温度が 50℃以上になる可能性がある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、バッテリー工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合ったバッテリー工具を使用してください。

- ◆ 小形のバッテリー工具やアタッチメントは、大形のバッテリー工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

6. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

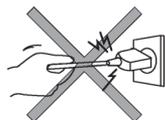


7. バッテリー工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

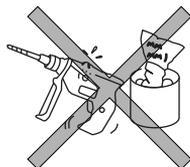
12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ バッテリー工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないバッテリー工具は、使用しないでください。



14. バッテリー工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方はバッテリー工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ バッテリー工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

バッテリースコープについての注意事項

バッテリー工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、バッテリースコープをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



警告

1. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
 - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
2. バッテリースコープの使用前に作業範囲内を確認してください。バッテリースコープの各部が電線・何かが作動している箇所・化学物質などに決して触れないようにしてください。作業範囲内にある電線の回路は遮断してください。
 - ◆ これによって、爆発、感電、家・家具などの損害の危険を低減できます。
3. 作業範囲内に人体に有害な物質がある場合は、保護めがねやゴーグル、保護手袋、防護マスクなどを使用してください。
 - ◆ 下水溝などには、固体、液体、気体を問わず、毒性、病原性、苛性など健康を害する物質が含まれている恐れがあります。
4. 人体に有害な物質がある場所での作業では、清潔さを保つよう特に注意してください。健康を害する物質に触れないよう注意し、作業中は、食事をしないでください。作業後は両手やその他有害な物質に触れた恐れのある部分を石けんと温水でよく洗浄してください。
5. バッテリースコープ使用中は、水の中に立たないでください。
 - ◆ 作業中に水中に立っていると、感電の危険があります。
6. 引火性のある液体、発火性のある気体のある場所で本機を使用しないでください。
 - ◆ 引火する危険があります。

7. バッテリースコープ本体に対して、なんらかの作業をする前（例えば、手入れ、付属品交換など）あるいは、持ち運びや保管の前には、必ずバッテリーを取り外してください。
 - ◆ 誤って「電源ボタン」が“入”になると、事故の原因になります。
8. レンジ、冷蔵庫、パイプなどの接地面に体が接触しないようにしてください。
 - ◆ 感電の危険があります。
9. 「電源ボタン」によるON/OFFができないときには、本機を使用しないでください。
10. 使用中に異常が疑われるときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店またはポッシュ電動工具サービスセンターに点検、修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつかけたりしたときは、本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
12. バッテリーを日光に長時間当てるなどの熱や、火、水、湿気にさらさないでください。
 - ◆ 破裂する危険があります。
13. 不適切な使用や保管などによってバッテリーから漏れ出た液体には、触れないでください。もし触れてしまった場合は、十分に水で流してください。液体が目に入った場合は、十分に水で洗ったうえで医師にご相談ください。
 - ◆ バッテリーから漏れ出た液体による炎症・やけどの恐れがあります。
14. バッテリーのキズや不適切な使用によって、バッテリーから煙がでる場合があります。作業場所の換気をして、もし異常があれば医師に相談してください。
 - ◆ 煙で呼吸器官が炎症するおそれがあります。

15. 付属品の磁石を、心臓ペースメーカーに近づけないでください。
◆ 磁気が心臓ペースメーカーの機能に悪影響を及ぼす恐れがあります。
16. ライトを直接のぞいたり、人や動物に向けたりしないでください。
◆ 光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。

 注 意

1. 付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
2. バッテリースコープが自動停止した後は、「電源ボタン」を押し続けしないでください。
◆ バッテリーが損傷する恐れがあります。
3. ライトを人や動物に向けしないでください。たとえ離れていてもライトを見つめないでください。
4. 付属品の磁石を、磁気データメディアや磁気感受性のある装置などに近づけないでください。
◆ 磁気の影響でデータが完全に失われる可能性があります。
5. 配管の詰まりの解消やケーブルを通すためには、使用しないでください。

リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

のリ
サイ
クル
に
ル

ポツシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みバッテリー工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポツシュ電動工具取扱店、ポツシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

この電動工具は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

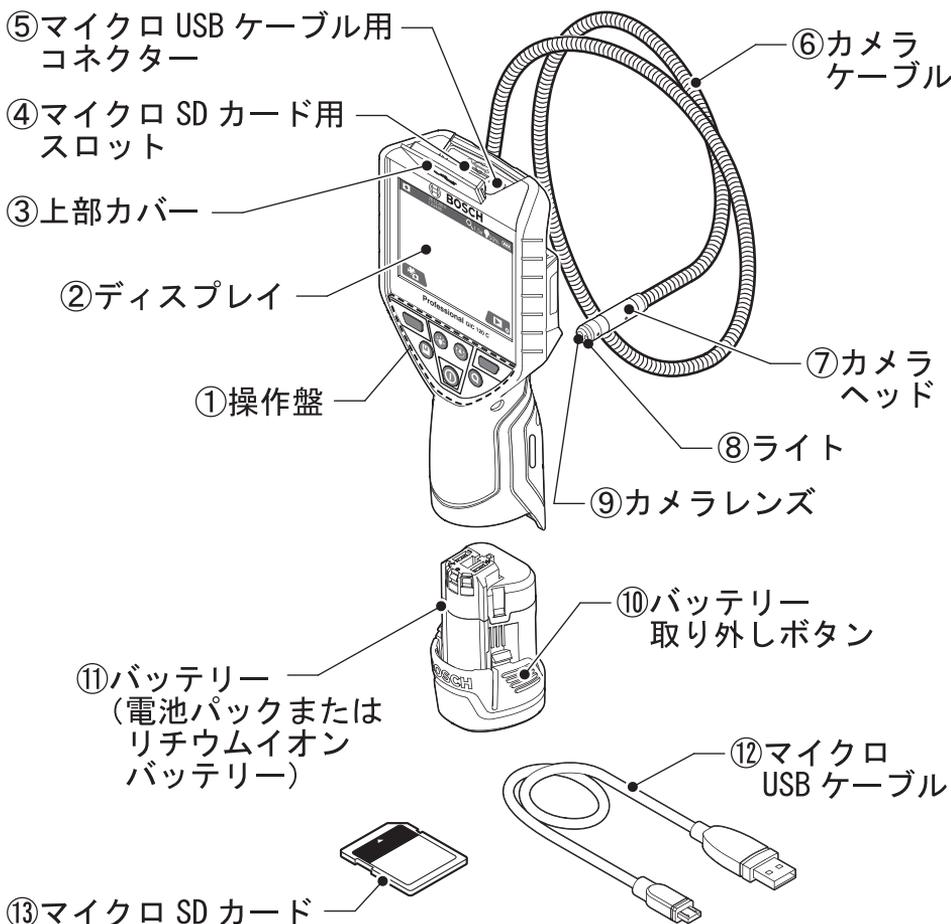
ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

本製品について

用途

- ◆ 目や手の届きにくい場所や暗い個所の検査など
 - ※ 付属品をカメラヘッドに装着すると、小さく軽いもの（例えば、小さなネジなど）を動かしたりすることができます。
 - ※ このバッテリースコープは、医療用ではありません。
 - ※ このバッテリースコープのライトは、作業を行う個所を直接照らすもので、家庭用の部屋の照明には適しません。

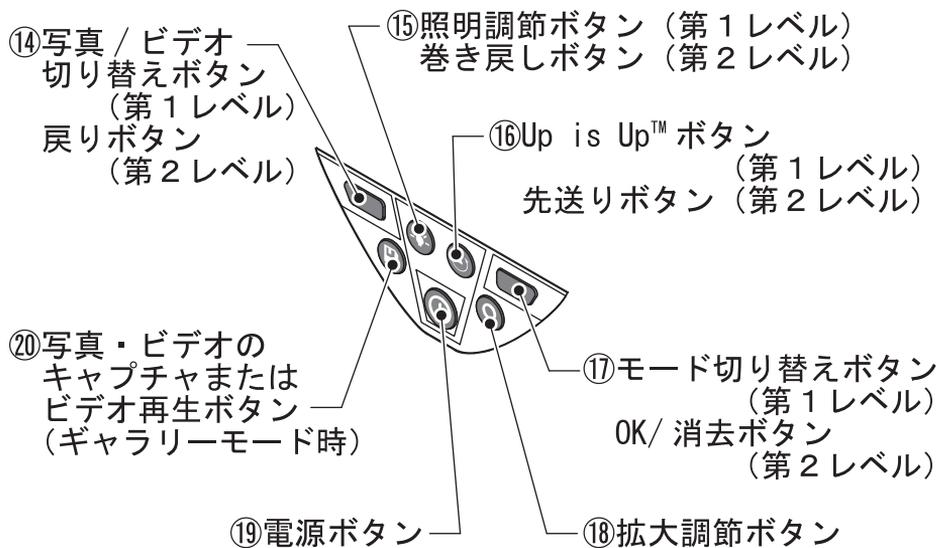
各部の名称



つ本
製
品
に
て

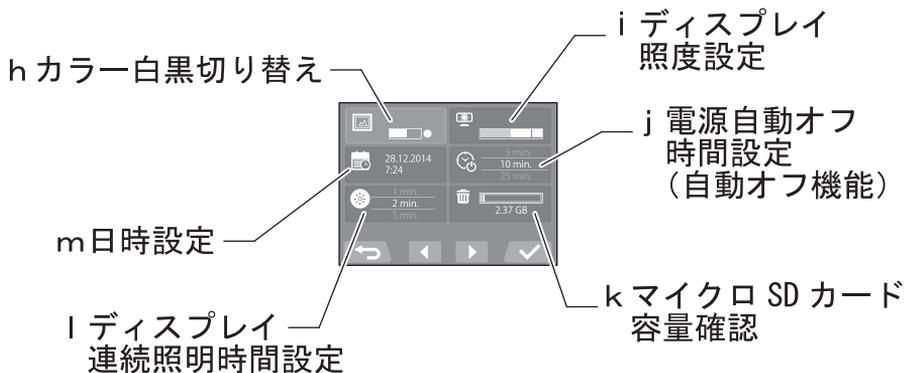
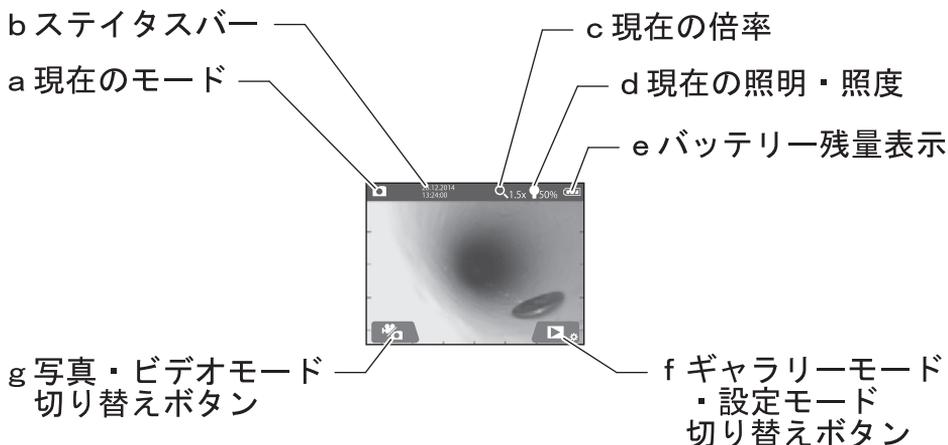
◆ イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

操作盤



本
製
品
に

ディスプレイ



本製品にて

仕 様

本 体

| | |
|---------------|---|
| 型 番 | G1C 120 C |
| 定格電圧 | |
| バッテリー | DC 10.8 V |
| 電 池 | DC 6.0 V |
| 使用温度範囲 | -10 ~ +50 °C |
| 保管温度範囲 | -20 ~ +60 °C* ¹ |
| 相対湿度 | 5 ~95 %* ² |
| カメラケーブル最小曲げ半径 | 25 mm |
| カメラヘッド直径 | 8.5 mm |
| ディスプレイサイズ | 3.5 インチ |
| ディスプレイ解像度 | 320 × 240 |
| ビデオ出力フォーマット | NTSC |
| 電 源 | 単3アルカリ乾電池 4本もしくは ボッシュ純正 10.8V リチウムイオン バッテリー |
| 連続作業時間 | |
| バッテリー使用時 | 約 6 時間* ³ |
| 電池使用時 | 約 2 時間 |
| 質 量 | 0.6 kg |
| 寸 法 (高さ×幅×厚さ) | 217×90×49 |
| 原産国 | 中国 |

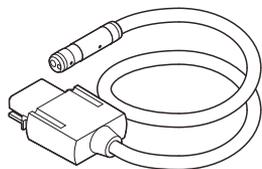
*1 本体のみ (バッテリーを取り外した場合)

*2 結露がないこと

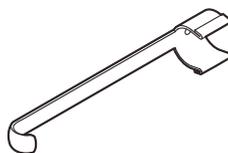
*3 カメラヘッドライト照度 100%のとき

本
製
品
に

標準付属品



カメラケーブル
(1.2m φ8.5mm)



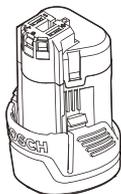
フック



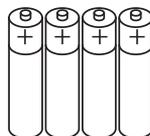
磁石



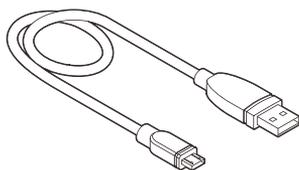
鏡



電池パック



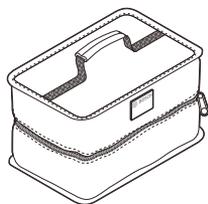
アルカリ乾電池
(単3 4本)



マイクロUSBケーブル



マイクロSDカード(4GB)



キャリングバック

つ本
製
い
品
てに

使い方

バッテリーを準備する

● 電池パックを使用する



警告

- ◆ 単3 アルカリ乾電池を使用してください。
- ◆ 電池パックは、ボッシュバッテリースコープ専用です。他の電動工具などには使用しないでください。

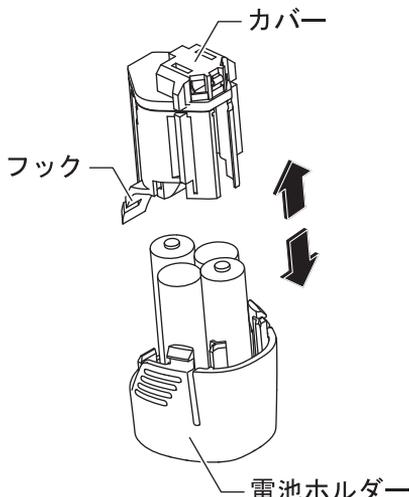
1. カバーのフックを引き上げて保持し、カバーを取り外します。

2. ホルダーの表示に従い、電池の向きに注意して電池をセットします。

☞ 電池を交換するときは、常に新しい電池を4本セットで交換してください。この際、メーカーおよび容量の異なる電池を混在して使用しないでください。

3. ホルダーにカバーを取り付けます。

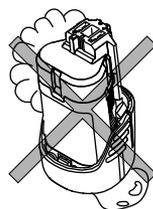
☞ カバーが確実に取り付けられ、外れないことを確認してください。



● リチウムイオンバッテリーを使用する

バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？



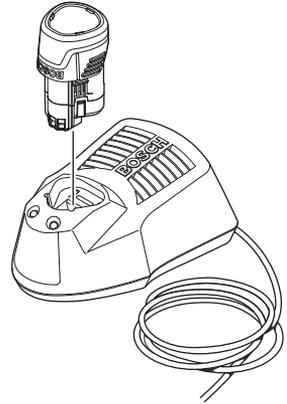
バッテリーを充電する



警告

- ◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリーを充電してください。
- ◆ バッテリーが熱くなっているときは、冷えてから充電してください。
- ◆ エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
2. 充電器にバッテリーを差し込みます。
充電が始まります。
(『充電器の取扱説明書』参照)
3. 充電が終わったら、バッテリーを充電器から抜きます。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜きます。



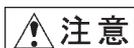
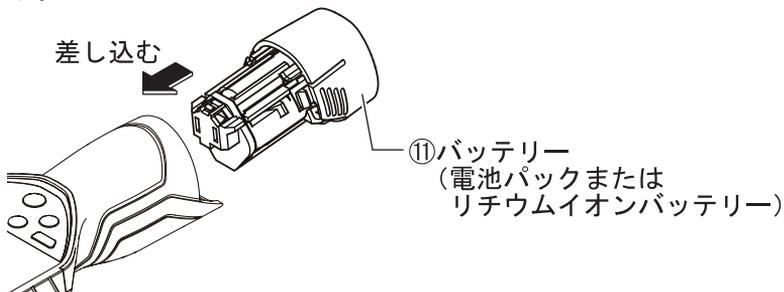
使
い
方

- ☞ 長期間使用していなかったバッテリーは、バッテリー本来の能力を発揮させるために、1時間程充電してから使用してください。
- ☞ 正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリーの寿命が尽きたと考えられます。
新しいバッテリーと交換してください。
- ☞ バッテリーは多少充電されていますが、初めて使用される場合は、充電器でバッテリーをフル充電し、完全に充電されたことを確認してください。
リチウムイオンバッテリーはその寿命を縮めることなく、いつでも充電が可能です。充電を途中でやめてもバッテリーを傷めることはありません。
- ☞ バッテリーには NTC サーミスタが装備され、0℃～+45℃の範囲でのみ充電できます。これによって、バッテリーを長くご使用いただけます。

● 電池パックまたはリチウムイオンバッテリーを取り付ける・取り外す

取り付け

バッテリー⑪（電池パックまたはリチウムイオンバッテリー）を、バッテリーースコープ本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込みます。



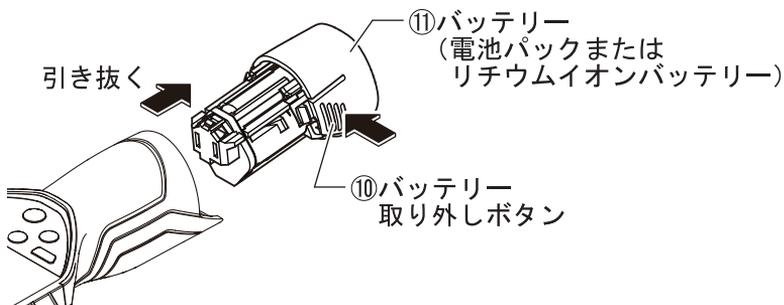
◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

取り外し



◆ バッテリー⑪（電池パックまたはリチウムイオンバッテリー）を引き出す際、けがをしないよう注意してください。

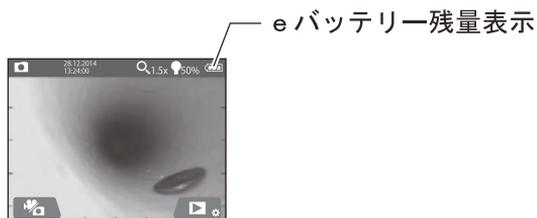
「バッテリー取り外しボタン⑩」を押しながらバッテリー⑪（電池パックまたはリチウムイオンバッテリー）をバッテリーースコープ本体から引き抜きます。



☞ 長期間使用しない場合は、本体から電池パックまたはリチウムイオンバッテリーを取り外してください。長期間、電池やバッテリーを入れたまま使用しないと、電池が腐食、放電することがあります。

● 電池パックまたはリチウムイオンバッテリーの残量を確認する

「電源ボタン⑱」を押して電源を“入”にすると、バッテリー残量表示 e がディスプレイ⑳に表示され、バッテリー㉑（電池パックまたはリチウムイオンバッテリー）の残量が確認できます。バッテリー残量表示 e が空の表示になったら、電池を入れ替えるまたはバッテリーを充電する必要があります。バッテリー残量表示 e が空の状態では作業を継続できません。



● 基本項目を設定する

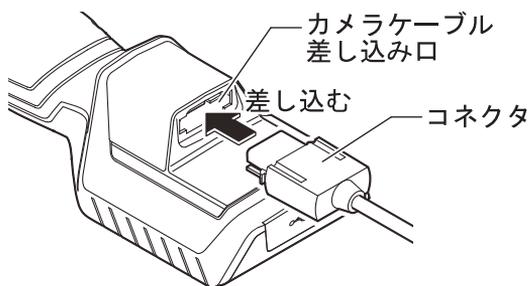
「モード切り替えボタン⑰」を長押しすると設定モードに切り替わります。設定モードでは、下記が設定、確認できます。

- カラー（赤点）と白黒（緑点）の切り替え（h）
- ディスプレイの照度設定（i）
- 自動オフ機能：バッテリースコープを一定時間操作しないとき、自動で電源オフになるまでの時間（j）
- マイクロSDカードの容量確認と初期化（k）
- ディスプレイ②の連続点灯時間（l）
- 日時設定（m）

● カメラケーブル⑥を取り付ける・取り外す

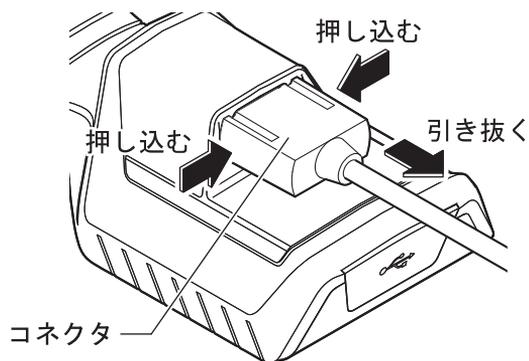
取り付け

1. カメラケーブル⑥が破損していないか確認します。
2. バッテリースコープ本体のカメラケーブル差し込み口に、カメラケーブル⑥のコネクタを差し込みます。
☞ 正しい向きで、しっかり差し込んでください。



取り外し

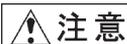
カメラケーブル⑥のコネクタを両側から同時に押し、保持したままカメラケーブル⑥を本体から引き抜きます。





警告

- ◆ 本体とバッテリー⑪を直射日光に当てたり、ぬれた場所で使用したりしないでください。
カメラケーブル⑥、カメラヘッド⑦は、耐水性がありますが、本体とバッテリー⑪には耐水性がありません。水気がかかったりすると、感電や本体損傷の恐れがあります。
- ◆ 検査場所が本機の使用に適しているか確認してください。
(カメラケーブルの経路など)
- ◆ 検査場所に供給されている電気の有無を確認してください。感電を防ぐために電源を切り、検査中に再び電源が入ることを防ぐために電源を遮断してください。
- ◆ 排水管内の検査においては、化学薬品使用の有無を確認してください。化学薬品が使用されている場合は、安全対策をし、薬品メーカーに本機の故障や劣化に対する関係を確認してください。
- ◆ 引火性のある液体、発火性のある気体の有無を確認してください。物質の確認をし、使用できる状況になるまで作業を行わないでください。
- ◆ ライトの光線を見つめないでください。また、人や動物に向けたりしないでください。

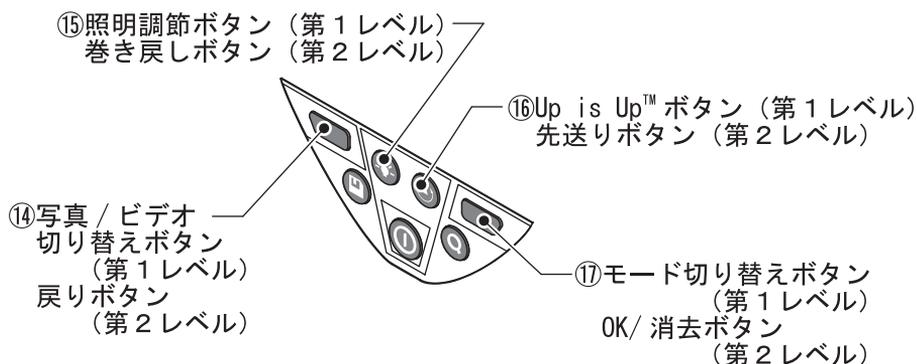


注意

- ◆ バッテリースコープを長時間自動車の中に置くなど、高温や温度変化の激しい場所に置かないでください。
温度変化が激しかった場合は、バッテリースコープを周囲の温度になじませてから作業してください。
- ◆ カメラヘッド⑦のレンズが曇っているときは、レンズの湿気が消えるまで、電源を入れしないでください。
電源を入れると、バッテリースコープが損傷する恐れがあります。
- ◆ 電源の入ったライト⑧が熱を持つことがあります。ライト⑧に触れないでください。

設定モードとギャラリーモード

「モード切り替えボタン⑰」を押すと、「設定モード」と「ギャラリーモード」が切り替わり、操作盤のボタンの機能が変わります。



1 マイクロ SD カードを挿入する

1. 上部カバー③を開きます。
2. マイクロ SD カード用スロット④にマイクロ SD カード⑬を奥に突き当たるまで押し込みます。
3. 上部カバー③を閉じます。

2 本体にバッテリー⑪を取り付ける

バッテリー⑪（電池パックまたはリチウムイオンバッテリー）を、本体のバッテリー差し込み口に「カチッ」と音がするまで押し込みます。



注意

- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。
- ◆ 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

3 電源を入れる

スイッチの ON/OFF

スイッチ ON : 「電源ボタン⑱」を押す。

電源を入れると、ディスプレイ②に数秒間スタート画面が表示されます。

スイッチ OFF : 「電源ボタン⑱」を押す。

 基本項目設定の“自動オフ機能”で設定した時間操作しないと、自動的に電源が OFF になります。

4 作業する



警告

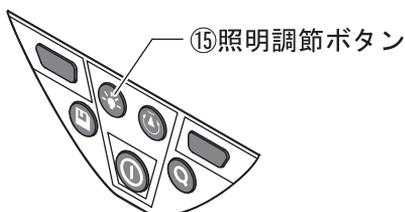
◆ 作業する範囲に、危険箇所や危険物がないか確認してください。



注意

◆ このバッテリースコープは、医療用ではありません。
◆ パイプの詰まりを取り除いたり、ケーブルを通したりする目的で使用しないでください。

1. カメラヘッド⑦がスムーズに検査箇所に入るよう、カメラケーブル⑥を曲げます。
2. 電線などに注意しながらカメラケーブル⑥を検査箇所に差し込みます。
3. 映像がはっきり見えるようにライト⑧の明るさを調節します。
「照明調節ボタン⑮」を押して、明るさを調節します。
明るさは4段階（0%、25%、50%、100%）で調節できます。
任意の明るさになるまで、「照明調節ボタン⑮」を繰り返し押してください。
消灯 → 点灯（25%） → 50% → 100% → 消灯・・・

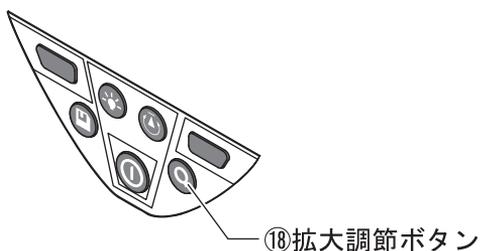


☞ 反射性の高いものがある場合、ライトは暗めのほうが映像がはっきりします。

4. ディスプレイ②の映像を調節する（ズーム）

「拡大調節ボタン⑩」を短く押すと、ディスプレイ②の映像が、1.5倍または2倍に拡大します。

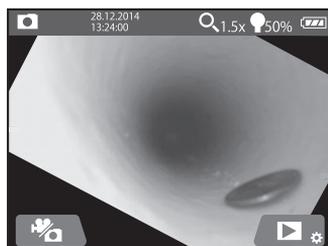
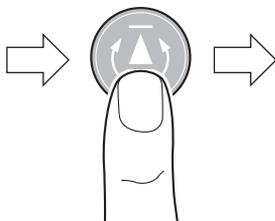
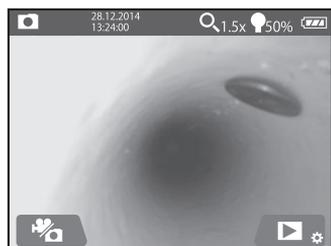
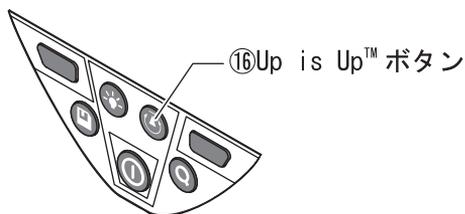
必要に応じて調節してください。



5. ディスプレイ②の映像を回転する（UP is UP™）

「Up isUp™ ボタン⑯」を押すと、実際の垂直方向の上が画像内でも“上”として表示されます。

☞ 付属品の鏡を装着している場合や、カメラケーブル⑥が本体から垂直方向上下に伸ばされている場合はこの機能が制限されます。



6. ディスプレイ②の映像を見ながら作業します。

 検査対象物がぼやける場合は、カメラヘッド⑦と対象物の距離を調節してください。

 ディスプレイ②に映像の上下が正しく映るよう、必要に応じてカメラケーブル⑥を曲げてください。

5 作業を終了する

「電源ボタン⑱」を押してください。

● 写真・ビデオを撮る

「写真/ビデオ切り替えボタン⑭」を押して、“写真モード”と“ビデオモード”を切り替えます。

選択中のモードは、ディスプレイ②の現在のモード a に表示されます。

写真モード

「写真・ビデオのキャプチャ/ビデオ再生ボタン⑳」を押すと、撮影されます。

ビデオモード

「写真・ビデオのキャプチャ/ビデオ再生ボタン⑳」を押すと撮影が開始されます。

再度「写真・ビデオのキャプチャ/ビデオ再生ボタン⑳」を押すと、撮影が終了します。

● 写真・ビデオを再生する

「モード切り替えボタン⑰」を短く押し、“ギャラリーモード”に切り替えます。

“ギャラリーモード”に切り替えるとフルスクリーンで映像を見ることができます。

「ビデオ再生ボタン⑳」を押すと、ビデオが再生できます。

● 画像やビデオを他のディスプレイで見る

画像やビデオを他のディスプレイで見るには、マイクロSDカード⑬が挿入されている必要があります。

マイクロUSBケーブル⑱を経由してコンピューターと接続し、画像やビデオを転送することもできます。

ディスプレイ②にはバッテリースコープがコンピューターと接続されていることを示す印が表示されます。

コンピューター側には、バッテリースコープが外部ドライブとして表示されています。

マイクロUSBケーブル用コネクタ⑥経由でバッテリースコープのバッテリーを充電することはできません。

マイクロ USB ケーブル⑫を取り付ける・取り外す

取り付け

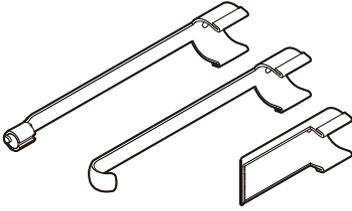
上部カバー③を開き、マイクロ USB ケーブル⑫をマイクロ USB ケーブル用コネクタ⑤に正しい向きで差し込みます。

取り外し

データの転送が終了したら、マイクロ USB ケーブル⑫を取り外し、上部カバー③を閉じます。

アクセサリーを使う

● 鏡・磁石・フック



鏡、磁石、フックを取り付けることで、小さな軽いものを動かしたり、取り除いたりすることができます。



警告

- ◆ 磁石を心臓ペースメーカーに近づけないでください。心臓ペースメーカーの作動に悪影響を与える可能性があります。
- ◆ 磁石を磁気データメディアや磁力に弱い機器に近づけないでください。データに損傷を与える可能性があります。
- ◆ 磁石とフックは、動きやすく小さな軽いものを移動したり、取り除いたりするための部品です。
大きな力を加えると、バッテリースコープ本体や補助部品を損傷する恐れがあります。

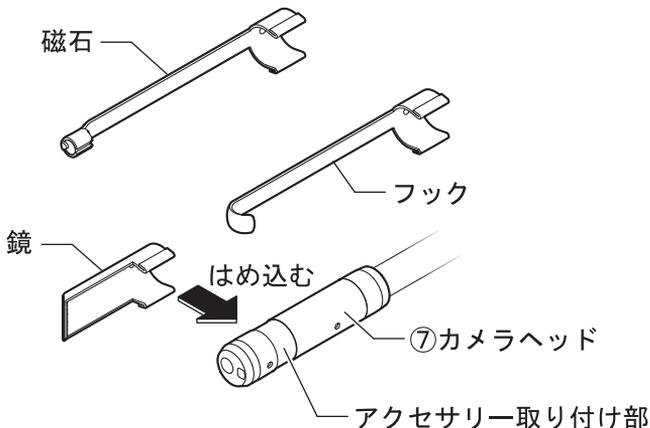


注意

- ◆ パイプの詰まりを取り除いたり、ケーブルを通したりする目的で使用しないでください。

使
い
方

下図のように、それぞれアクセサリーをカメラヘッド⑦のアクセサリー取り付け部にはめ込みます。



困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

| 症 状 | 原 因 | 対 処 |
|-----------------------------------|-------------------------|-----------------------------|
| 「電源ボタン⑩」を押しても電源が入らない | バッテリー⑪が消耗している | バッテリー⑪を充電するか、交換する |
| | バッテリー⑪の温度が最適温度範囲外になっている | バッテリー⑪が最適温度範囲内になるまで待つか、交換する |
| 充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い | バッテリー⑪の寿命が尽きた | バッテリー⑪を交換する |

困ったときは

| ディスプレイ上の エラーサイン | 原 因 | 対 処 |
|---|------------------------------------|-------------------------|
|  | カメラケーブル⑥が接続されていない | カメラケーブル⑥を接続する。 |
|  | マイクロ SD カード⑬が挿入されていないか、正しく挿入されていない | マイクロ SD カード⑬を正しく奥まで差し込む |

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管



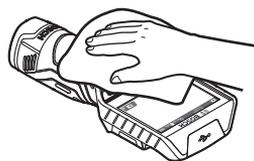
警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑪を本体から取り外し、お手入れしてください。

クリーニング

- バッテリー取り外しボタン⑩やバッテリー装着部分に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- 乾いた、柔らかい布で本体やカメラレンズ、カメラケーブルの汚れをふき取る

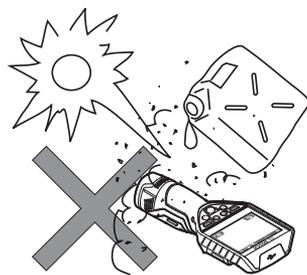
- ☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。
- ☞ カメラレンズは、特に定期的にふいてください。
- ☞ カメラレンズに繊維くずなどが残らないよう注意してください。



保管

- バッテリースコープを使った後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリーは50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。



保証書

品名 バッテリースコープ 型式 GIC120C

保証期間： 年 月 日より 1年間

| | | | | |
|--------|-----|---------------|-----|----------|
| お客様 | お名前 | | 販売店 | 販売店名及び住所 |
| | ご住所 | 〒 TEL. | | TEL. |
| お買い上げ日 | | 年 月 日 | | |

本書は、保証・修理について正しい理解をしていただき、本機をいつまでも安心してお使いいただくためのものです。

※お買い上げ時に保証書の記入事項へ必ずご記入ください。

記入がなされていない場合、保証を受けることができませんのでご注意ください。

1. バッテリースコープのアフターサービスについて

バッテリースコープGIC120Cのアフターサービスは、修理をせずに、無償または有償での新品交換にて対応させていただきます。

2. 保証について

このたびはバッテリースコープGIC120Cをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この保証は、「保証書」に登録されているお客様に対して、保証期間内であり、かつ、正常なご使用状態であるにもかかわらず、材料上または製造上の不具合が発生した場合に、無償で新品と交換させていただきますことをお約束するものです。

保証内容につきましては「保証書・保証規定」をお読みください。

保証規定

- 保証期間はお買い上げ日より1年間とします。
- 製品保証対応をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご掲示いただきお申しつけください。
- 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に限り、保証対応させていただきます。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有償新品交換とさせていただきます。
 - 取り扱い方法、保管上に於て誤りがあった場合。
 - 不当な修理や改造による故障および損傷。
 - 火災、水害、地震、落雷、その他天災地変などによる故障および損傷。
 - 本書のご掲示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 保管の不備、お手入れの不備による故障および損傷。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行をいたしませんので、大切に保管してください。

ポツシユ株式会社 電動工具事業部
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7
TEL. 03-5485-6161